

三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会（第3回）

議事概要

- 1 開催日時 平成29年2月13日（月）13時30分～14時00分
- 2 場 所 三条市役所 本庁舎4階 第三委員会室
- 3 出席者 水野（座長）、郷、近藤、佐藤の各構成員（4名）
NSGグループ NSGカレッジリーグ・阿部氏（オブザーバー）

事務局
大平総務部長、市川政策推進課主幹、坂田高等教育機関設置準備室長、
石田一般任用主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関 越後ジャーナル社、ケンオー・ドットコム、建設速報社、三条新聞社、
新潟日報社、日本工業経済新聞社
- 6 配付資料
 - ・資料1 三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会（第2回）議事概要
 - ・資料2 三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会設置要領
 - ・資料3 三条市看護系高等教育機関の開設を目指す背景等
- 7 会議概要
 - (1) 開会
 - (2) 設置要領一部改正の報告
 - 事務局から、「三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会設置要領」第3条の一部改正について報告があった。
 - (3) 議事
 - 事務局から資料3に基づき、議事(1)「三条市看護系高等教育機関の開設を目指す背景等」、並びに、議事(2)「誘致候補者選定理由」について、以下の説明があった。
 - ・ 三条市の課題の中に、「深刻な慢性的看護職員不足」、並びに、「若年層を中心とした人口流出」があり、この二つの課題解決に向けた対応策として、「地域医療を担う人材の供給基盤体制の確立」、並びに、「魅力ある高等教育環境の整備」が必要であること。
 - ・ 看護系高等教育機関を整備することで、二つの対応策を実現することができ、「安定的に看護職員を供給する基盤を確立し、市民の安心・安全の土台となるべき地域医療を将来にわたって堅持」すること、並びに、「地域で学び、地域の病院において従事することで、若年層の転出を抑制」することにつながる。

- ・ 当該看護系高等教育機関において育成する人材に関連して、三条市としては、地域に愛着を持ち、地域で生活し続けていく意志のある若者が中心となって地域医療を守り続けてほしいとの想いを持っていること。また、このことについては、看護職員、歯科衛生士ともに共通であること。
 - ・ 医療系の学科等を置く学校運営の十分な実績とノウハウを持つNSGグループより、三条市の想いに賛同の上で、誘致に応じることが可能との提案をいただいたことから、誘致候補者とし、誘致による開設に係る協定締結に向けた事務的な調整を進めてきたこと。
- 議事(3)「その他」において、事務局から、今後、看護系高等教育機関の開設準備を進めていくに当たり、市内の病院における臨地実習の実施状況等について把握したいこと、併せて、最適な方法のアドバイスを求める旨の発言があった。
- このことについて、佐藤構成員から、市内病院における臨地実習の実情等については、新潟県済生会三条病院の看護部長である金安氏がよく把握しているのではないかと発言があり、これに対して、事務局から、次回の懇談会において金安氏を招待し、市内病院における臨地実習の実情等に関する話を聞きたい旨の発言があった。
- 事務局から、次回の懇談会の開催については、次年度に入ってからを予定しており、座長と事務局で相談の上で、各構成員に日程調整し、開催日時を決定したい旨の説明があった。
- (4) 閉会

了